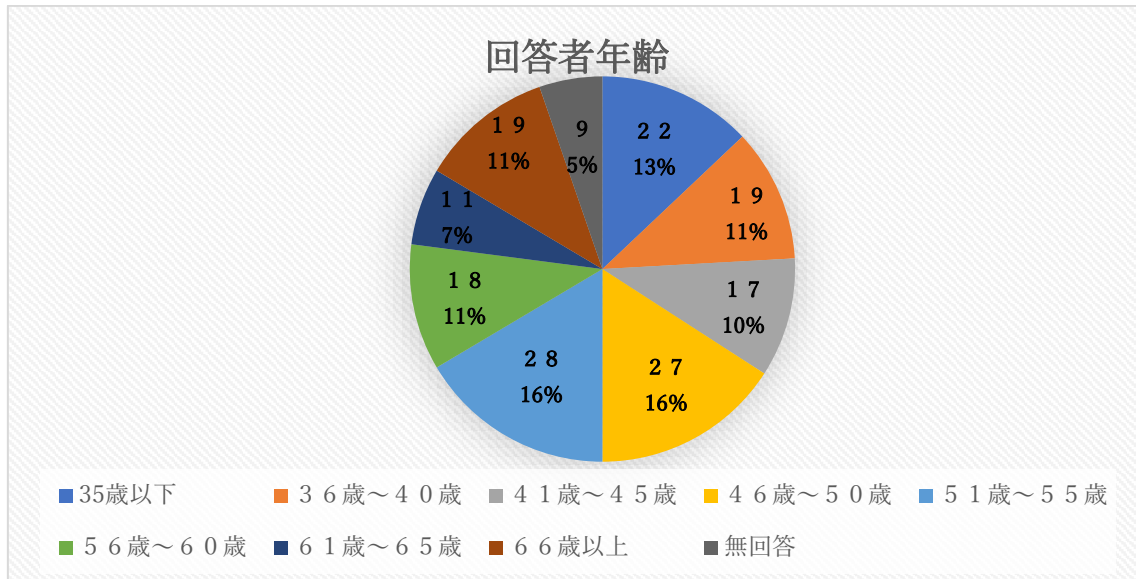


## 大瀧村農家アンケート調査

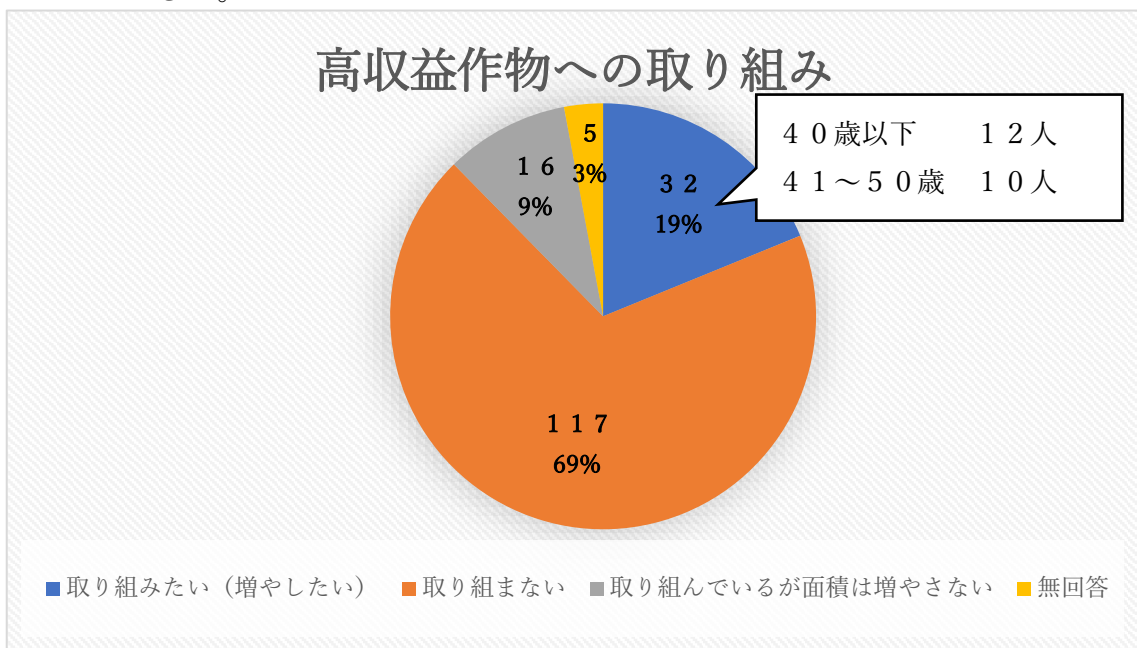
調査対象:「経営者本人」並びに「後継者と見込まれる方」 582名

回収結果:170名(回答率 29.2%)

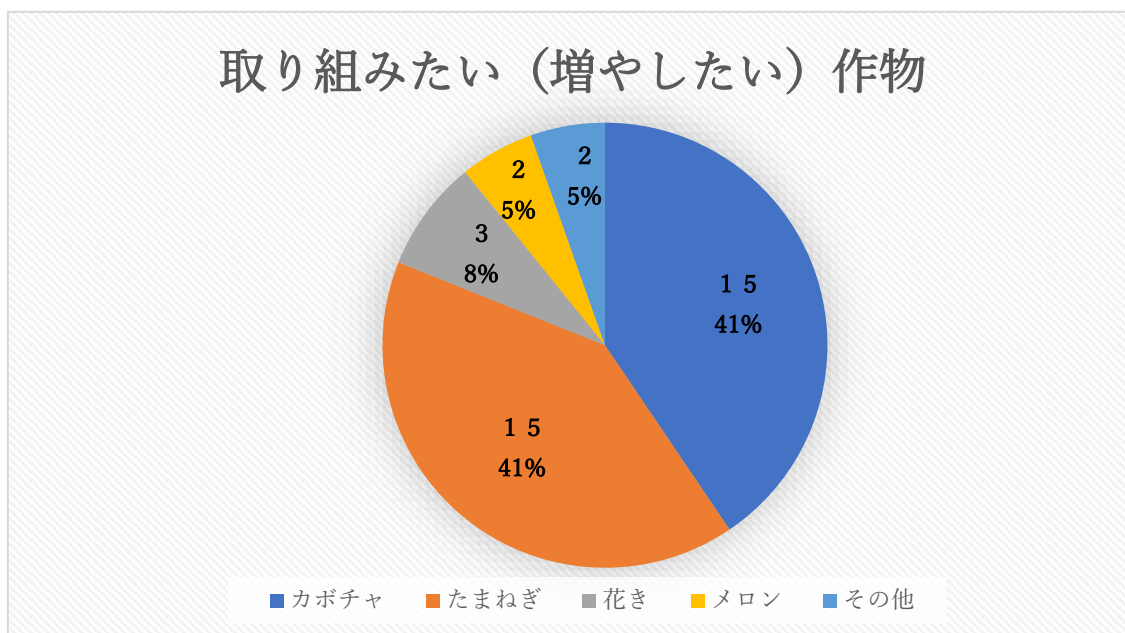
### 回答者の年齢



- 1-1 たまねぎや南瓜等の高収益作物に取り組みたいと考えていますか。また、既に取り組んでいる方については、面積を増やしたいと考えているか。

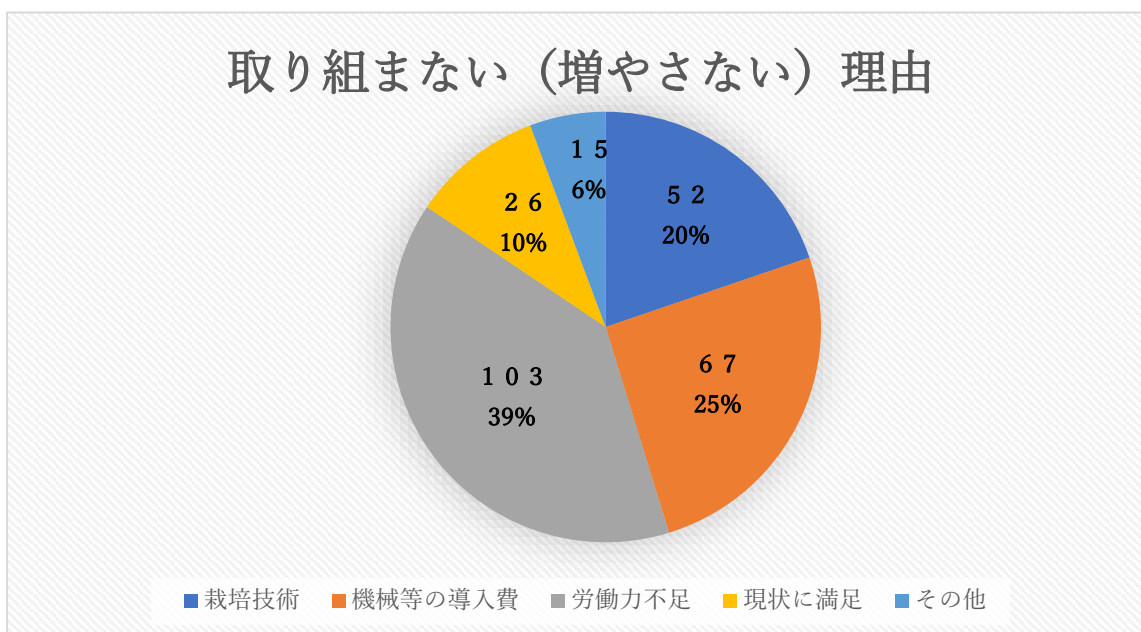


1-2 1-1で「新たに取り組みたい（増やしたい）」と回答した方で何の作物を増やしたいと考えているか。



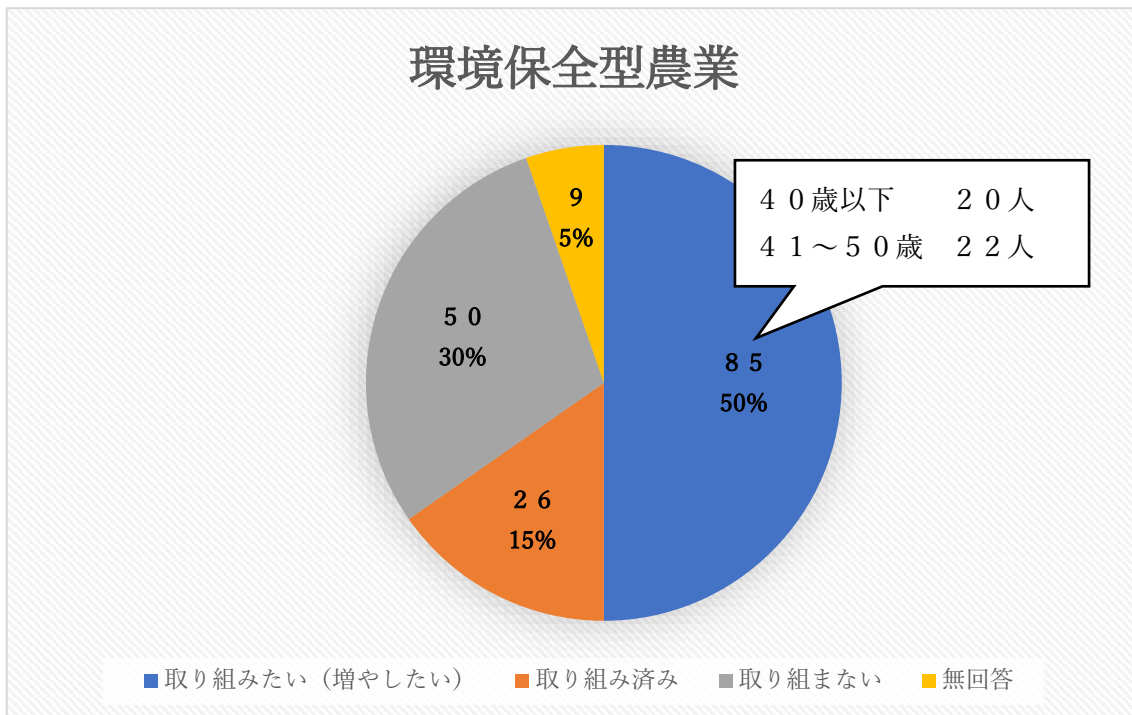
※その他：長ネギ 1、未定 1

1-3 1-1で「取り組まない」「取り組んでいるが面積は増やさない」と回答した方で取り組まない理由（課題）は何か。

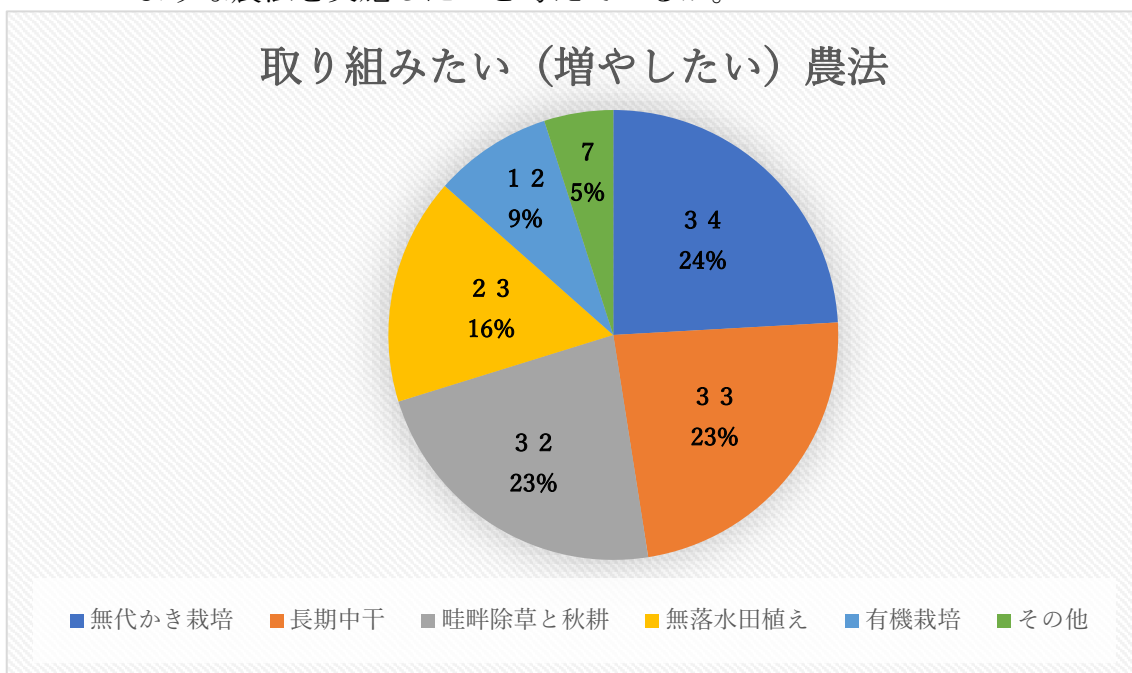


1-4 高収益作物に取り組むうえで村に期待することは何か。  
 38件中15件が農業用機械の関連 (別添のとおり)

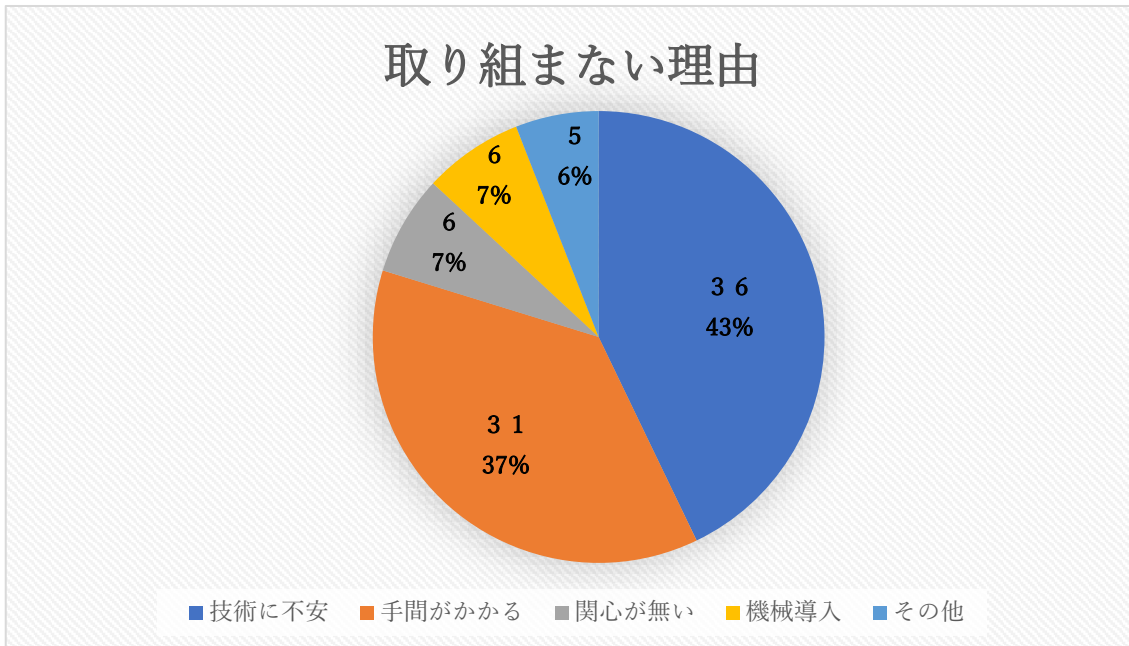
2-1 環境保全型農業に取り組みたいと考えるか。



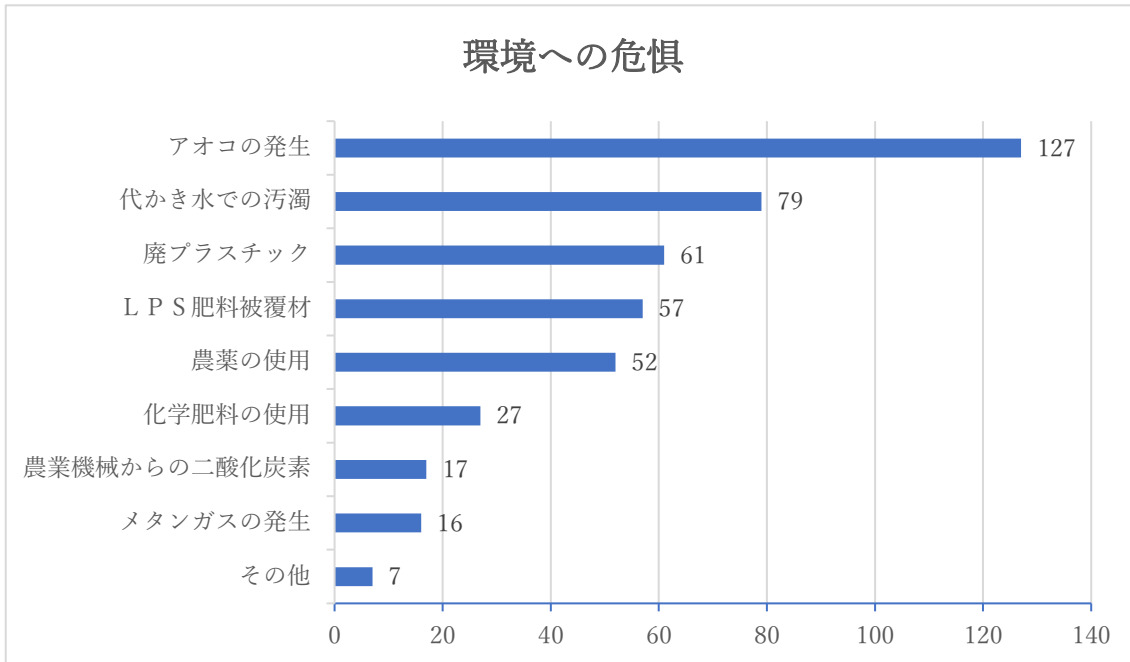
2-2 2-1で「新たに取り組みたい (増やしたい)」と回答した方で、どのような農法を実施したいと考えているか。



2-3 2-1で「取り組まない」と回答した方で取り組まない理由は何か。



2-4 環境への影響を危惧しているものは何か。

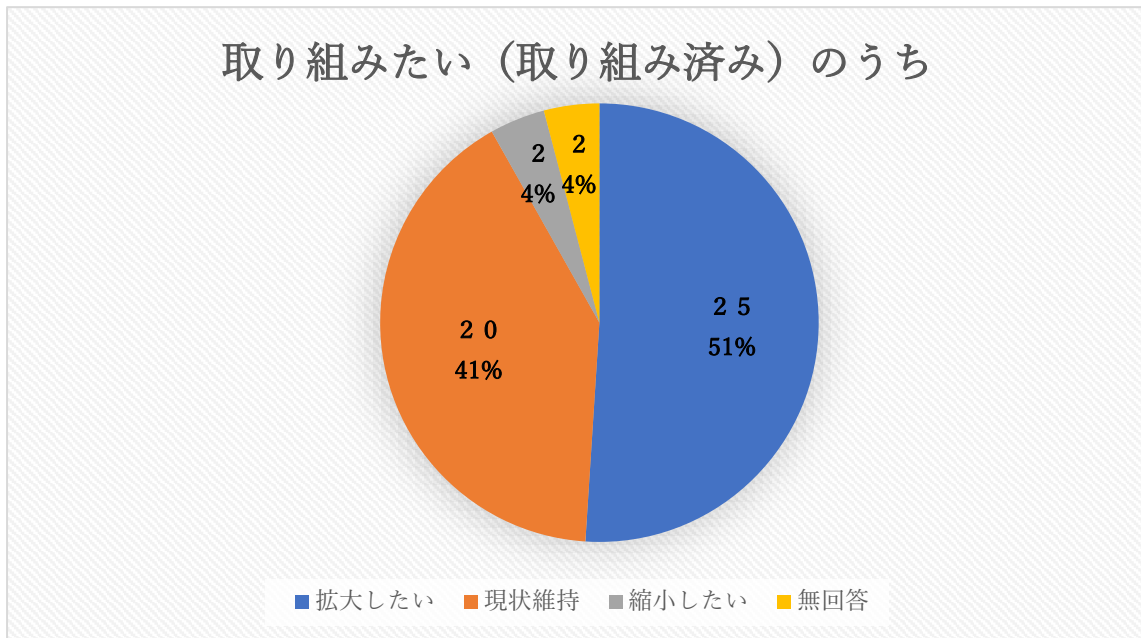


3-1 有機農業に取り組みたいと考えていますか。

取り組みたい（取り組み済み） 49  
 取り組まない 116

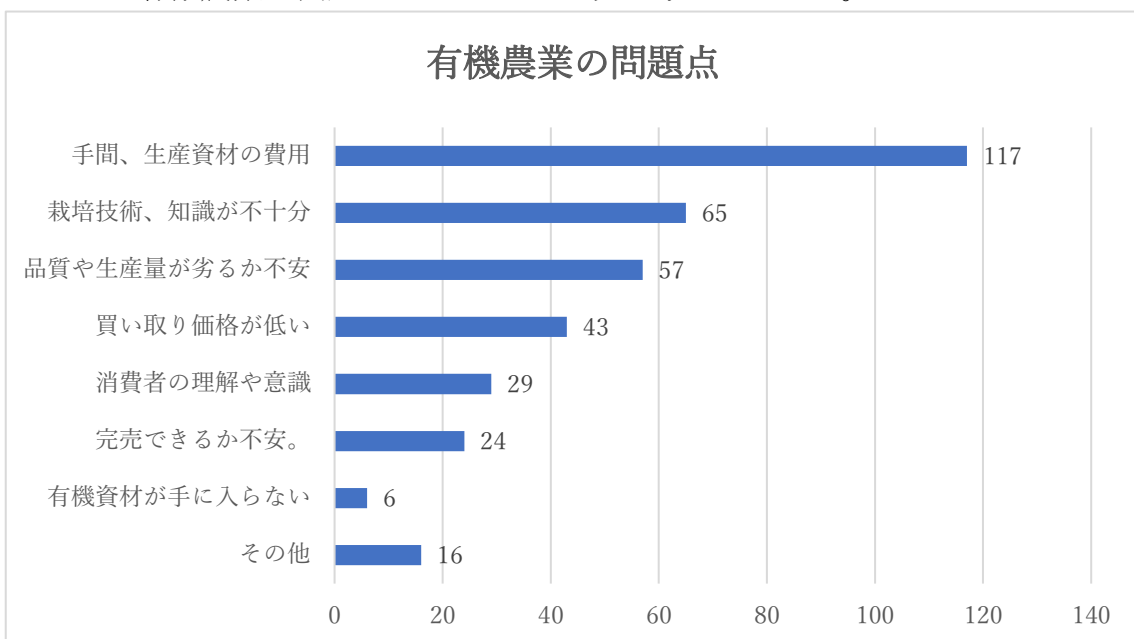
40歳以下	9人
41～50歳	12人

3-2 3-1で「取り組みたい（取り組み済み）」と回答した方の今後の有機農業取組について。

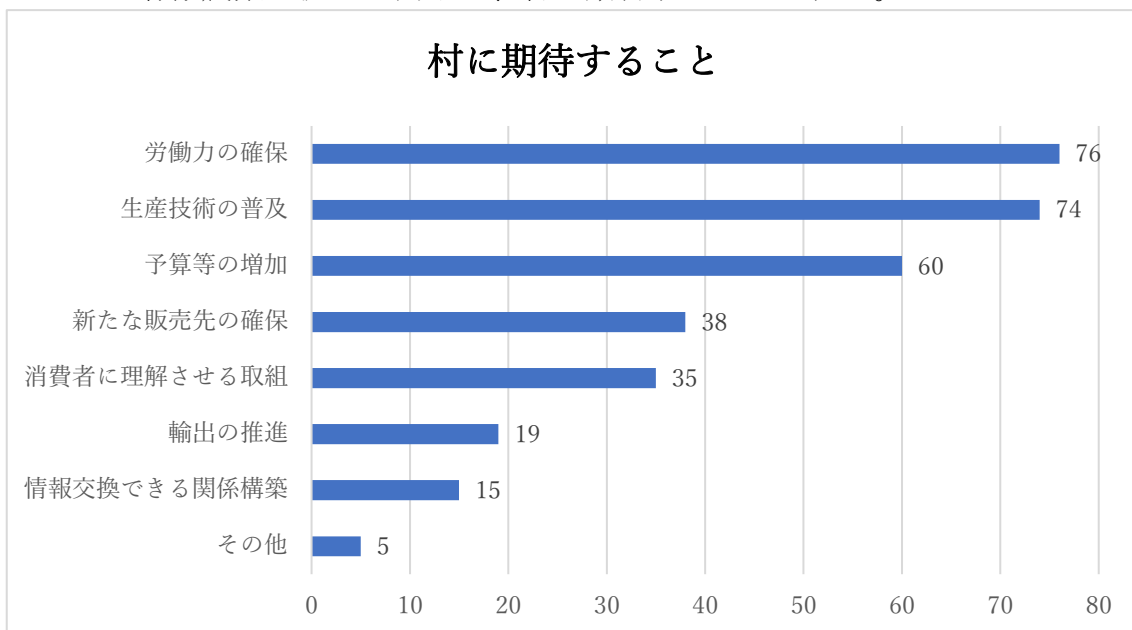


3-3 2-1で「取り組まない」と回答した方の有機農業に取り組まない理由。72件中38件が労働力関連（別添のとおり）

3-4 有機農業の問題点についてどのように考えているか。



### 3-5 有機農業の拡大に向けて、村に期待することは何か。

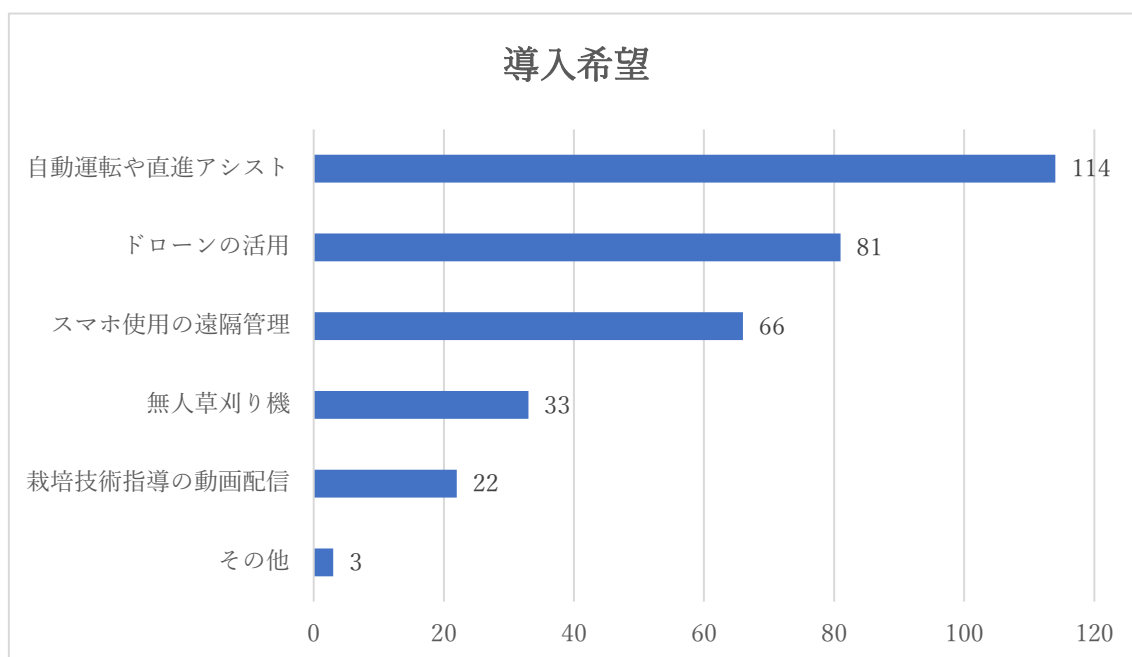


### 4-1 自身の営農において導入したい先端技術はあるか。

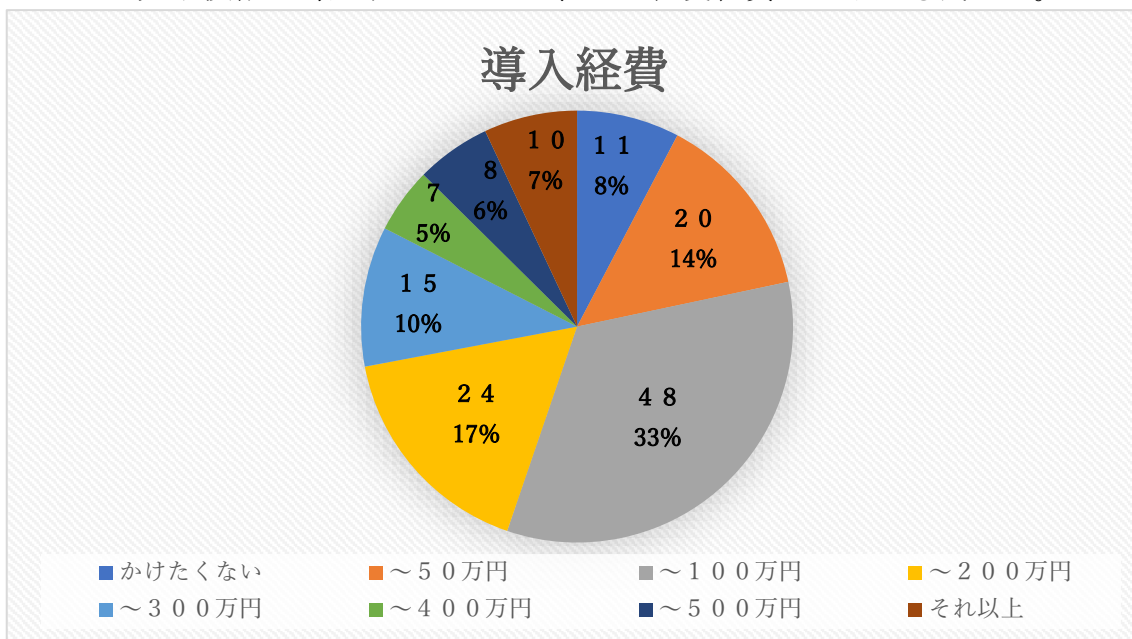
ある 140  
ない 29

40歳以下 31人  
41～50歳 32人

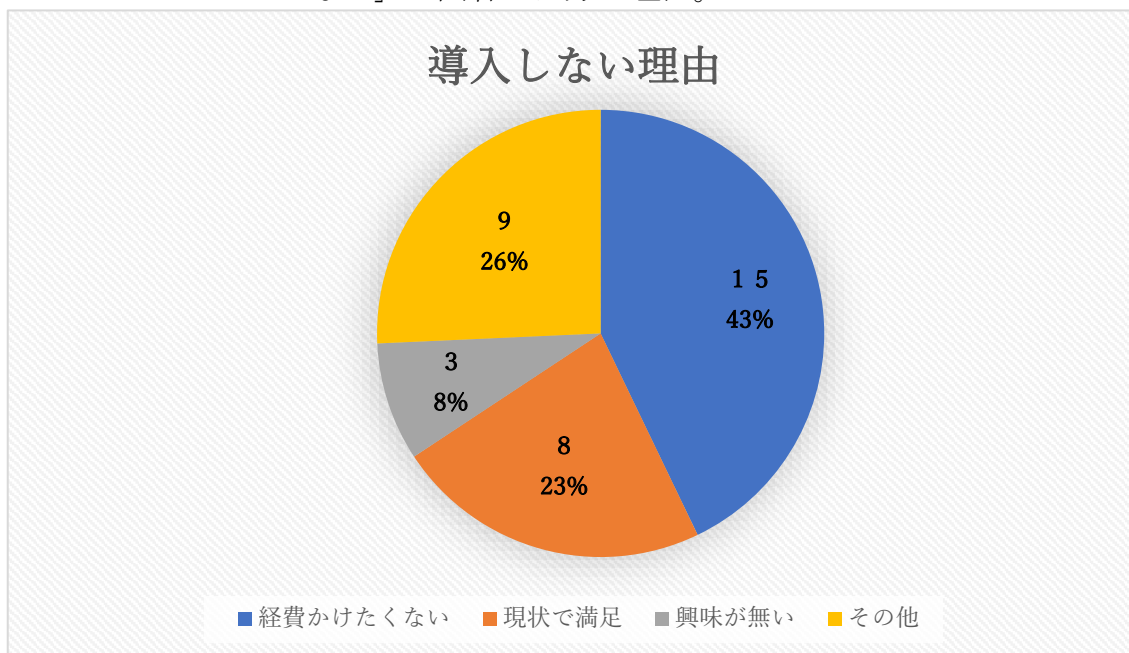
### 4-2 4-1で「ある」と回答した方はどのような技術を導入したいと考えているか。



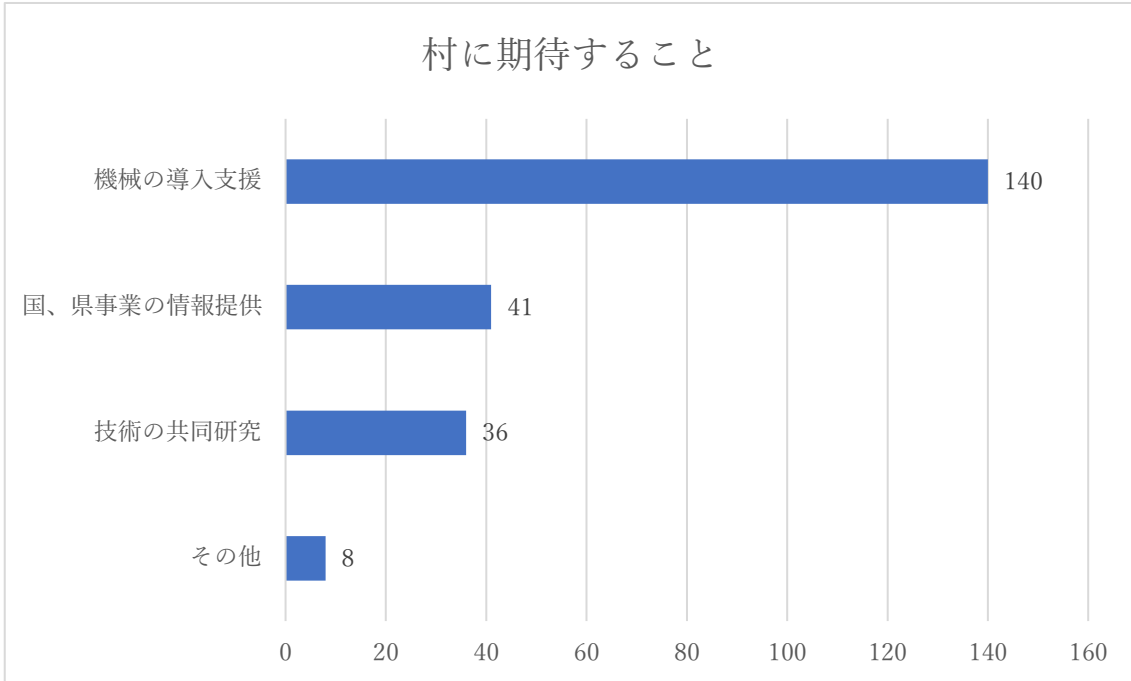
#### 4-3 先端技術を導入するにあたり、どの程度経費をかけても良いか。



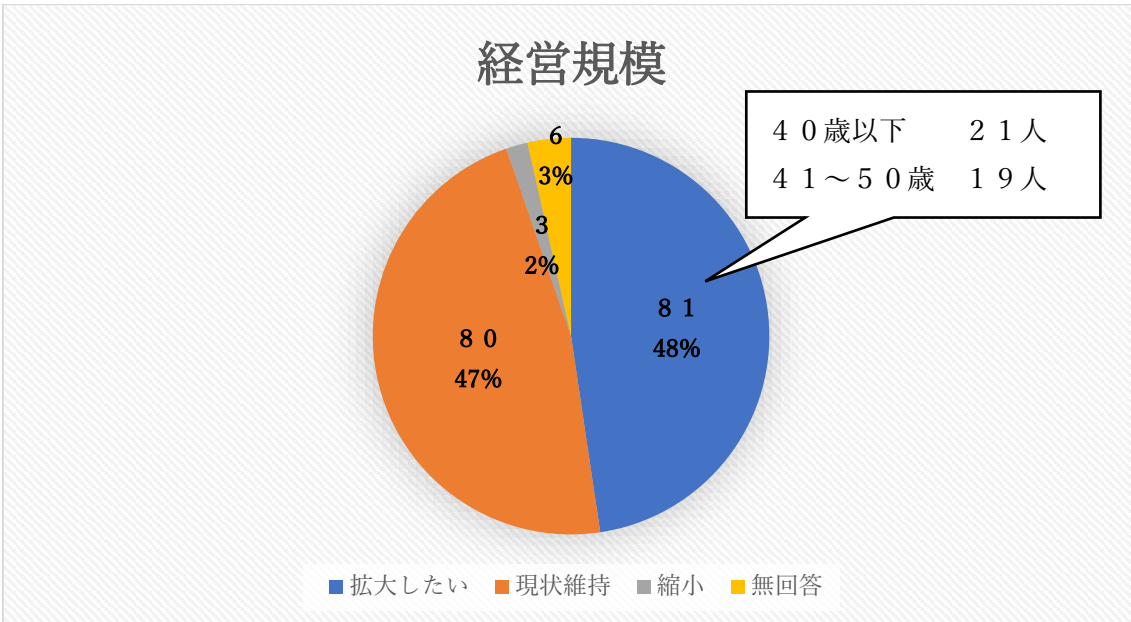
#### 4-4 4-1で「ない」と回答した方の理由。



4-5 先端技術の分野で村に期待することは何か。

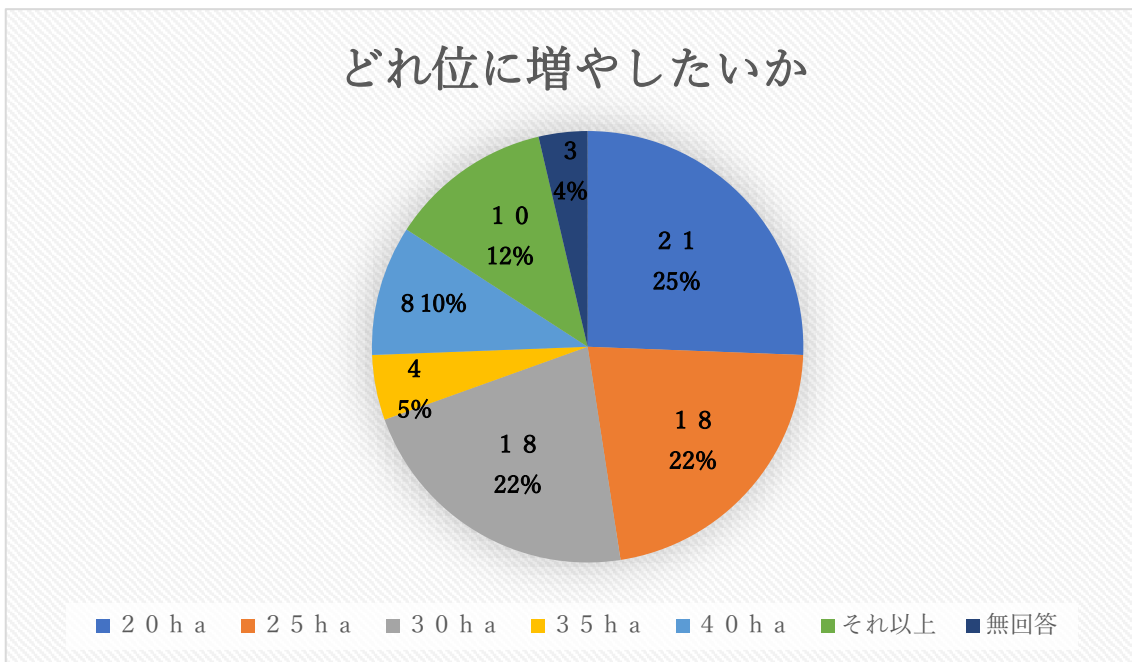


5-1 将来のあなたの経営規模について。

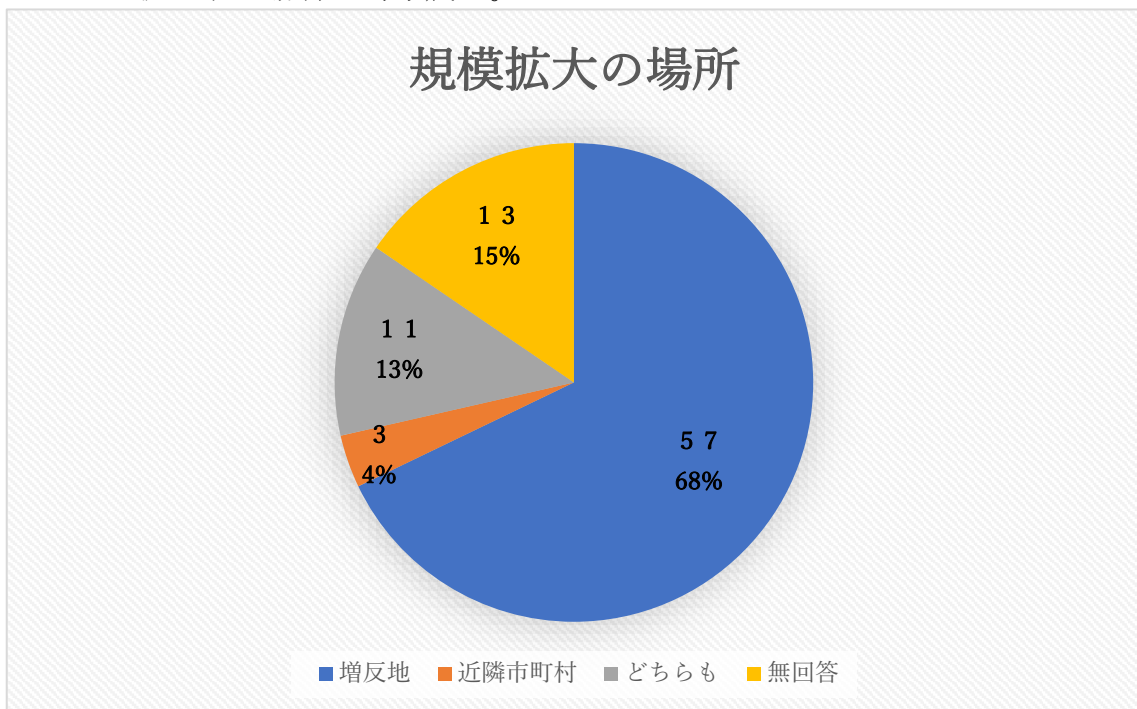




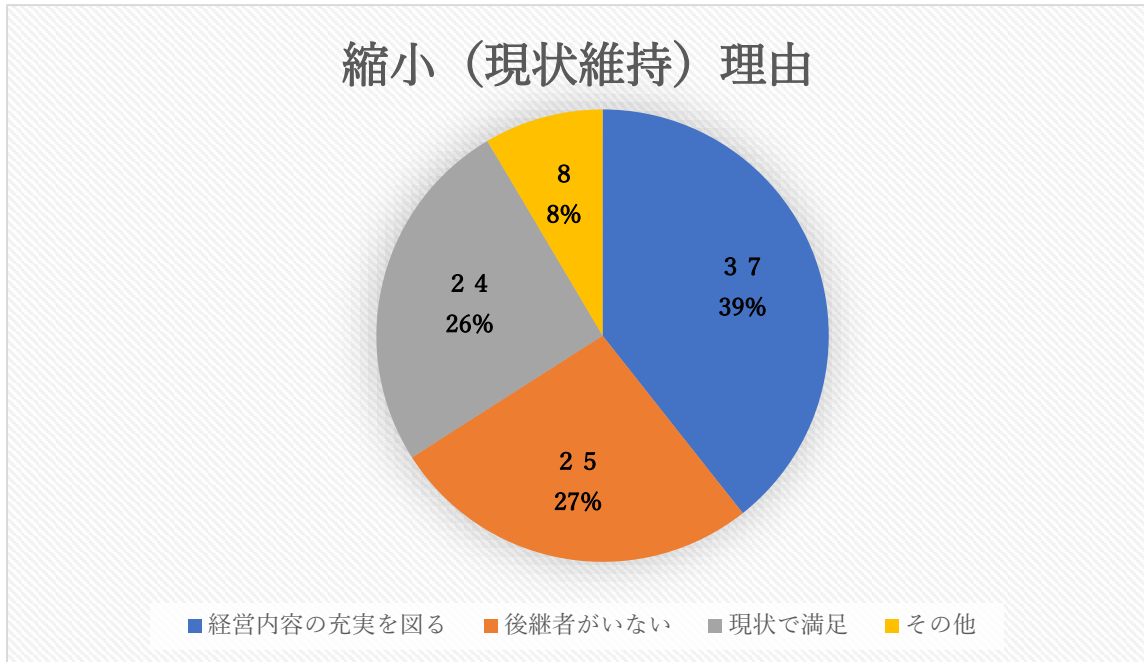
5-2 5-1で「拡大したい」と回答した方の規模について。  
 ※どの程度に拡大したいか



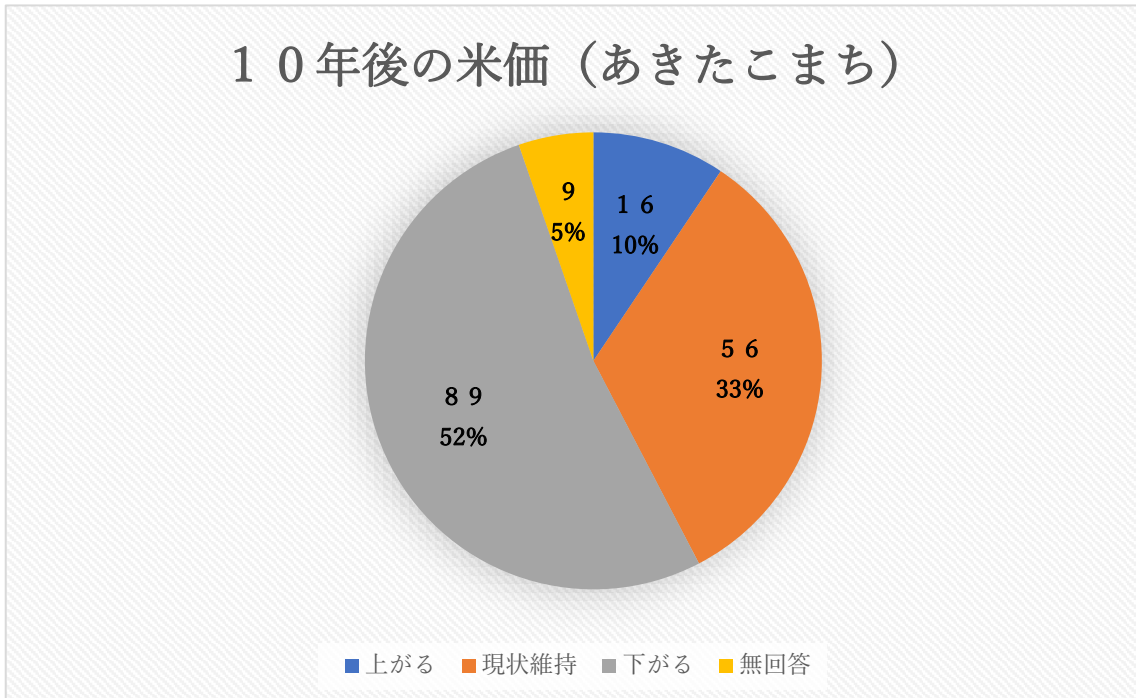
5-3 拡大する場合の対象農地。



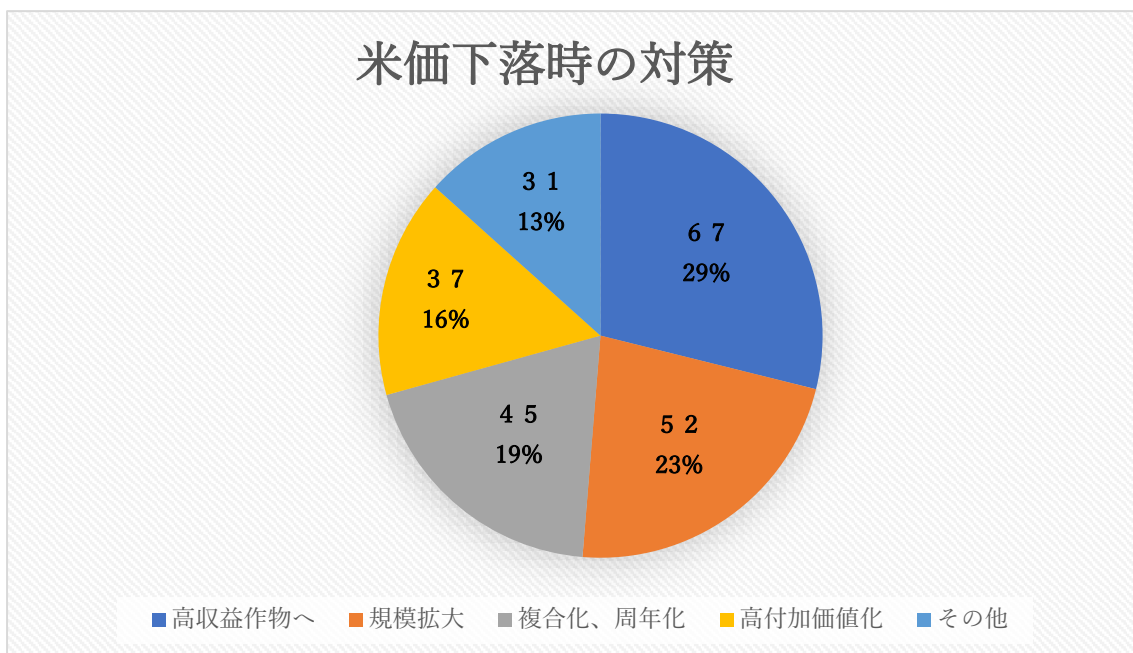
5-4 5-1で「現状維持」「縮小」と回答した方の理由。



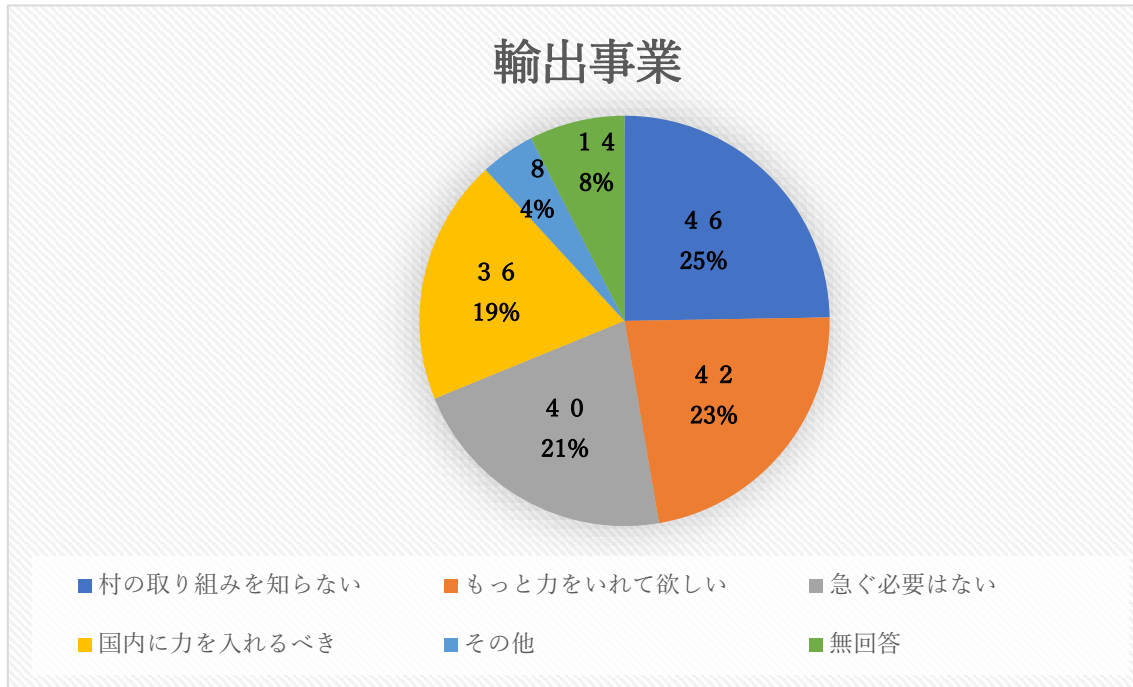
5-5 10年後の米価（あきたこまち）について。



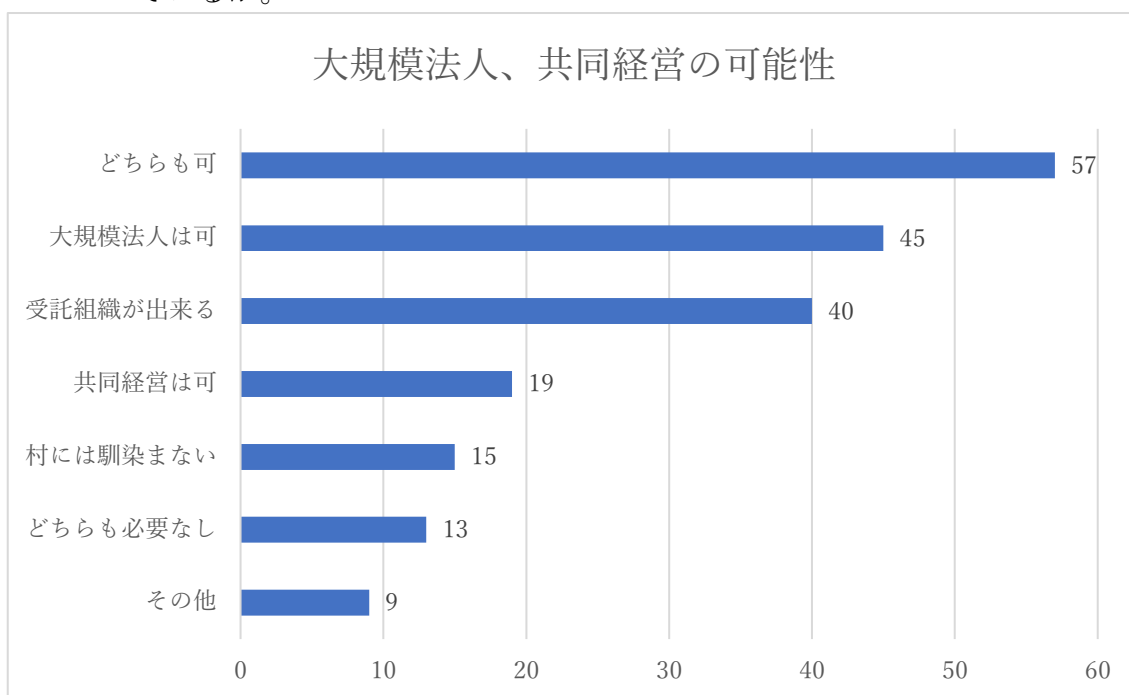
5-6 将来、米価が下がった場合の対策として何が考えられるか。



6-1 村の輸出に向けた取り組みについてどう考えているか。



6-2 大潟村における大規模農業法人あるいは共同経営についてどう考えているか。



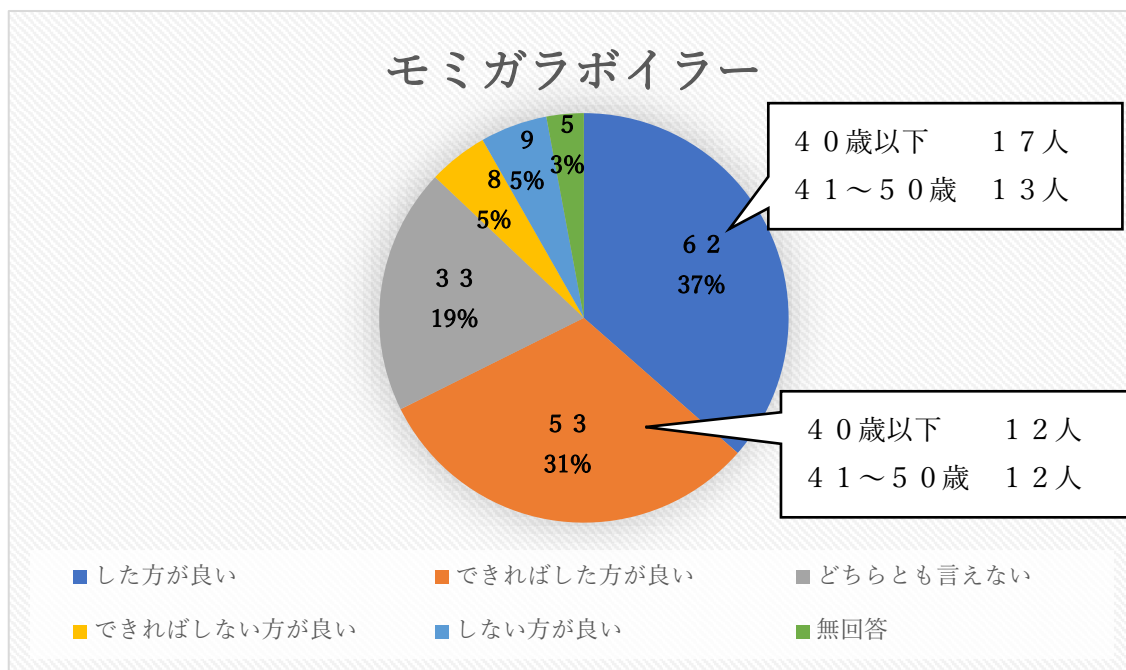
6-3 農業産出額100億円を120億円へ引き上げるために村はどういった施策に取り組むべきか。

55件中18件が高収益作物関連 (別添のとおり)

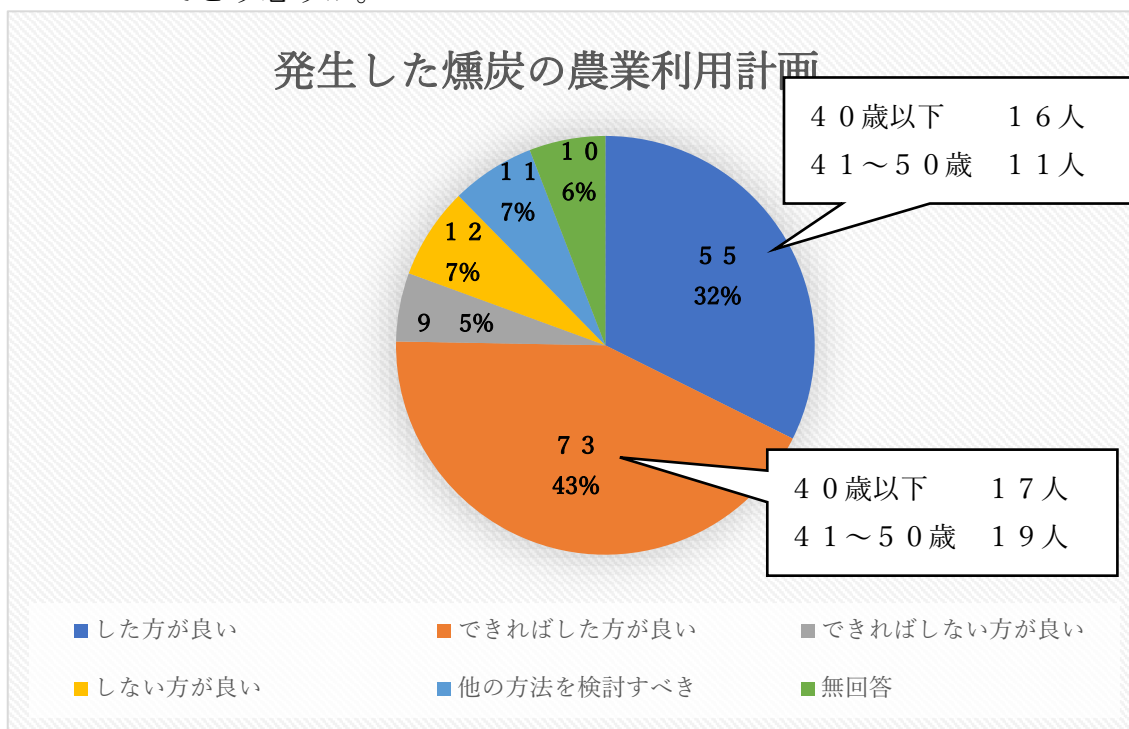
6-4 将来(5年後、10年後)の農業振興に向けた取り組みとして、村が取り組むべきこととしては何があると考えてるか。

全46件 (別添のとおり)

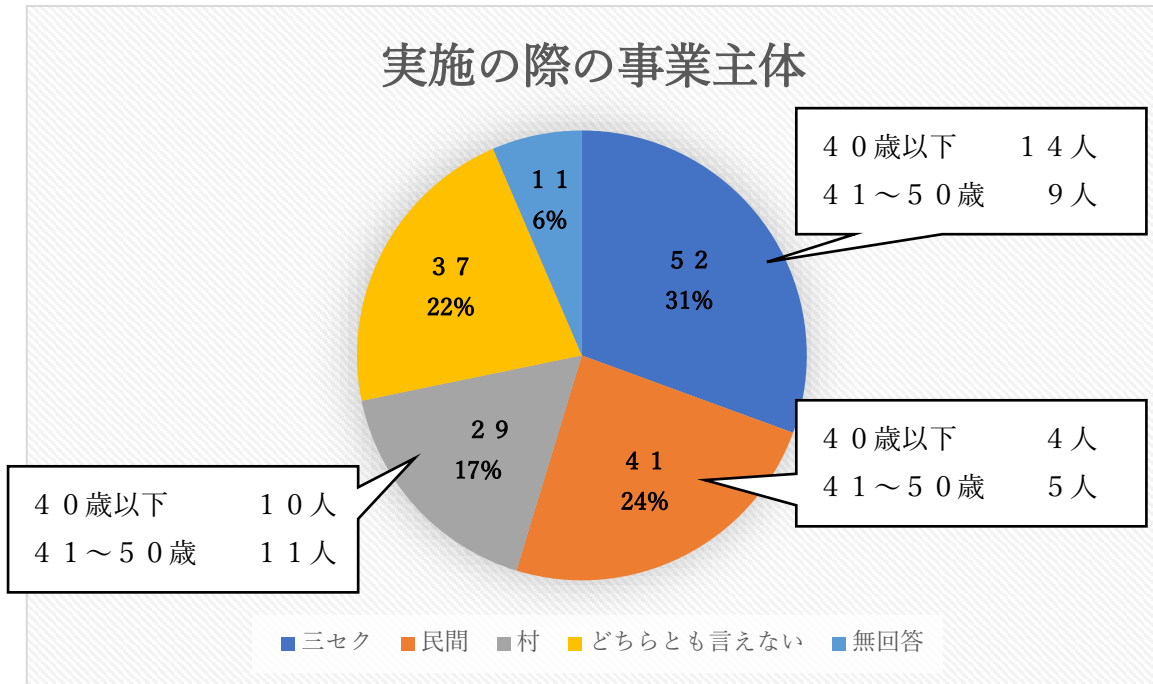
7-1 モミガラをバイオマス資源として有効利用することについて。



7-2 モミガラを熱源として利用し、発生した燻炭は農業利用することについてどう思うか。



7-3 事業化する場合の事業主体についてどう思うか。



7-4 モミガラ燻炭の技術が確立された場合、導入についてどうするか。

